


ステップ1

大項目	⑤状況に応じたコミュニケーション
小項目	【4】適切な声の大きさ
タイトル (教材名)	適切な声の大きさ①
目的 身につけてほしい力	声の大きさによって不便が生じる事を知る。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>テレビやラジオを使って、離れた位置で音量が小、近い位置で音量が大の状況を体験して距離と音量の適切な関係がある事を知る。 また視覚支援として下のようなイラストを用いると分かりやすい。</p>  <p>http://www.tos-land.net/system/content_text/attach_data/389001/6.gif</p>
教材の使用方法	音量が大きい場合は、最初から大音量にするのではなくて、徐々に上げていくようにする。逆に音量が小さい場合は最初から小音量で提示する。
その他	

ステップ2

大項目	⑤状況に応じたコミュニケーション
小項目	【4】適切な声の大きさ
タイトル (教材名)	適切な声の大きさ②
目的 身につけてほしい力	距離と音量の適切な関係を知る。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>一対一で様々な距離で挨拶を交わし、互いに聞きやすい、聞きにくいを確認していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「前に倣え(腕の長さ)」の距離 ○教室の対角線の距離 ○運動場の離れた距離
教材の使用方法	徐々に音量を下げて内容の聞き取りに焦点を当てて確かめるようにする。
その他	<p>体育館と運動場、教室など場所によって同じ距離でも聞き取りやすさが変わることに配慮する。</p> <p>対人関係的に距離感が苦手な児童生徒においてはあまり近距離(ひそひそ話)は教えないほうが良い。前に倣えの距離を基本とする。</p>

ステップ3

大項目	⑤状況に応じたコミュニケーション
小項目	【4】適切な声の大きさ
タイトル (教材名)	適切な声の大きさ③
目的 身につけてほしい力	実際に様々な場面で話す機会を設け、教師だけでなく周囲の賛同を得、達成感を味わうことで定着を図る。
教材の概要	班活動やグループ討議、授業中の発表などの場面を捉えて賞賛や助言を するとともに周囲にも感想を聞く。
材料 作り方 工夫点など	○後ろの人聞こえましたか？ ○分かりやすい話し方でしたね ○ボリュームが良かったので聞きやすかったですね
画像	
教材の使用方法	
その他	日常生活の様々な会話場面を捉えて誉めていく。